

学びの広場

学力向上通信 職員室版
茅田 涼太郎
令和5年 5月29日
4号。研修の感想 まとめ

「本当にこの授業づくりで大丈夫ですか？」～批判的に見直す～

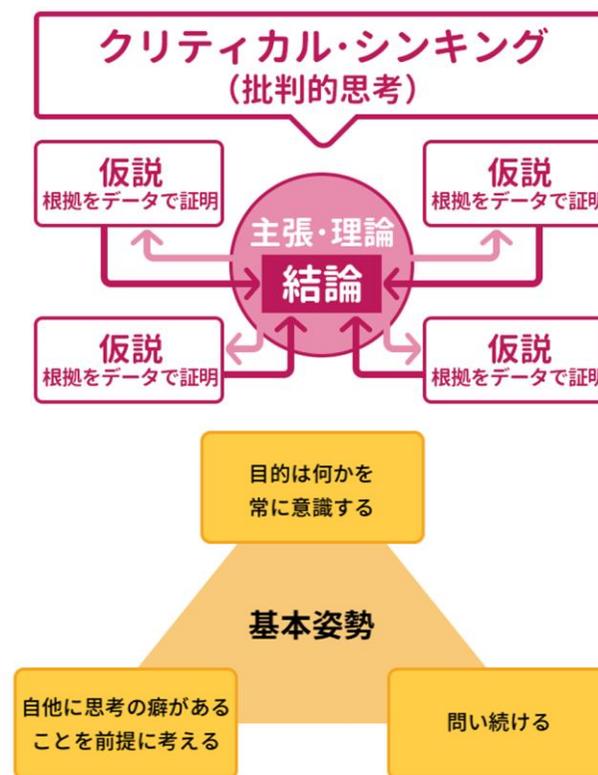
研修の感想

- 「〇〇で何を学ぶか」という能力ベースの授業づくりの視点は、**授業づくりを見つめ直す良い機会になりました**。特に各単元を「何のために」学ぶのかという点は即答できず、これから考えていきたいと思いました。
- 皆さんの積極的な参加、わかりやすい内容、次への展望などがあって良かったと思いました。
- 能力ベース…難しいですね…頑張ります…
- 「能力ベースで授業を考える」＝「何か新しいことを始めなければならない」ということではなく、日々、授業準備に追われる中でも、**少し立ち止まって目指すゴールにきちんと向かえているのか**振り返ることが大事だと感じました。
- 能力ベースの授業づくりについて、よくわかりました。**学習指導要領をもとに、つけたい力がつく授業をするのは、日本全国共通**だと思いました。五中の生徒の能力をつける、伸ばすための手立てをするのが仕事と思います。
- 前向きに学びたいと思います。**もっと指導要領を意識しないと**、反省です。
- 生徒の能力を伸ばすために**どういう授業が必要かを考えていく**ことが大切。
- 今年はたくさん五中の先生方とワークショップを通して五中生につけたい力や授業でどう育てるかの話が共有できるのが、ほんとうに楽しいです！！小林先生のお話しもとてもわかりやすく Why、What、How がやっと落ちました。
- 本日はお忙しい中、研修を企画・運営して下さいありがとうございました。教科間での授業づくりにおけるプロセスを共有する中で、身に付けたい資質・能力の方向性は共通するものが多かった。これは五中として目指しているものが同じだと思い、大切にしていきたいと感じた。
- 能力ベースのイメージがとても分かりやすかったです。「を」学ぶから、「で」学ぶという部分は授業づくりをするうえで、とても重要な部分だと思いました。
- 能力ベースは改めて難しいと感じた。“自分”で考え、行動する、そのためにできることは何か、**再度考え直す必要がある**。
- 能力ベースが初めてということなのかわかりました。他の先生と共有できて、**もう一度授業づくりを見直そう**と思いました。また、今やり始めていることが間違っていないと確認することができました。研修どうもありがとうございました。
- 内容ベースと能力ベースの考え方を聞いて、can do リストとのつながり方や授業の中での問いかけ、アクティビティ etc に活用していこうと思いました。また、グループワークでの先生方の授業への姿勢を聞いて勉強になりました。

- たくさんの準備、そして当日の研修とお世話になりました。他教科の先生方と授業づくりのお話が出来たことはとても良かったです。**参考に授業改善**をしていこうと思います。ありがとうございました。
- 能力ベースの授業づくりをすすめることは、五中生に主体的に学ぶ力をつけ、自主的に生きる力をつけることにつながると再認識しました。
- 研修を設けて下さり、ありがとうございました。**自分の授業を見直す機会**となり、とても有意義な時間となりました。常に謙虚な姿勢を忘れず、自分自身で振り返りながら新しいスタイルを試していくように改めて意識できました。
- 今までの研修の中で一番話が盛り上がりました。案内のとおり、**翌日の研修に行くことにしました**。
- 子供たちの今の「能力」がどんなものなのかをしっかりと学年で共有して授業に活かしていきたいと思いました
- いろんな先生の授業づくり、考えなど交流できて良かったです。次回が楽しみです。
- 教科それぞれの見方があり、自分の持っている教科では見えない見方を学べた。
- 楽しかったです！ありがとうございます。

学習指導要領に基づく授業づくりとは〇〇〇である

- 生徒が主体的・対話的で深い学びを行えるような授業をつくりあげること
- 学習者中心の授業づくり
- 教科の存在意義を考える授業
- 考える人を創る…
- “つけたい力”の具現化を日々目指すこと
- これから生きていける人に育てること
- 生徒の将来を考える
- 授業の土台となるもの
- その先にある人間力
- 1年後の生徒の姿を想像すること
- 心豊かに、自分で考え、生きる力をつけるために…
- 主体的に学ぶ力をつけること
- ベクトルを再確認し、日々試行錯誤すること
- 生きる力を身に付ける
- 創造



批判的 ≠ 否定的

批判的思考とは、

「ある考えについて前提となる事実を明らかにしながら、多角的・論理的に考える思考法」です。